

# 国際子ども図書館 の 窓

子どもの本は  
世界をつなぎ、  
未来を拓く！

第 20 号

2020.9

表紙デザイン：熊谷博人氏

# はじめに



『国際子ども図書館の窓』第 20 号をお届けいたします。この号では、平成 31 年 4 月から令和 2 年 3 月までの活動を御紹介します。「児童書専門図書館」、「子どもと本のふれあいの場」、「子どもの本のミュージアム」という 3 つの基本的役割を担う国際子ども図書館の幅広い活動をぜひ御一読いただければと思います。

この 1 年間、前年に引き続いて多くの方に、御来館いただくと共に各種講演会や研修等にも御参加いただきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、2 月下旬から子ども向けイベントの休止、子ども向けの閲覧室等の休止と休止範囲を広げ、3 月 5 日にはすべての来館サービスを休止することとなりました。3 月に予定していた展示会や研修の開催も見送ることとなり、一年の締め括りの時期としてはやや寂しい状況となりました。

平成 27 年度の施設の増改築以降、「国立国会図書館国際子ども図書館 子どもの読書活動推進支援計画 2015」に基づき、子どもの読書に関する情報発信、人材育成及びネットワーク構築、豊富な所蔵資料を活用した情報提供に取り組んでまいりました。昨年度は、これらの取組の進捗や近年の状況の変化を反映してこの計画を一部改訂し、さらに、国立国会図書館中期ビジョン「ユニバーサル・アクセス 2020」及び「国立国会図書館活動目標 2017-2020」に合わせて計画期間を令和 2（2020）年度まで延長しました。引き続き、関係諸機関と連携しながら、子どもの読書活動の推進を支援するための取組の充実を図ります。

また、国際子ども図書館は「子どもの本は世界をつなぎ、未来を拓く！」という理念を掲げ、国際的な連携を通じて子どもの本の魅力や情報を伝えるよう努めております。昨年度は 2018 年国際アンデルセン賞の受賞のお二方の講演会を開催するという幸運に恵まれました。4 月には作家賞を受賞した角野栄子氏に、子ども時代の読書体験や創作活動について御講演いただきました。そして、10 月には画家賞を受賞した、ロシアの代表的な絵本画家イーゴリ・オレイニコフ氏をお招きし、物語の咀嚼から新たに絵に描きおこして作品にしていく過程を語っていただきました。国際的に広く読まれている作品を生み出すお二方のお話からは、子どもの本という枠を超えた大きな魅力を感じていただけたのではないのでしょうか。

国際子ども図書館は、これからも読書活動についての関心を高め、子どもの本への理解をより深められるよう、さまざまな形で子どもの本の魅力をお伝えしてまいります。

今後とも皆様の御支援、そして御協力をよろしくお願いいたします。

令和 2 年 9 月

国立国会図書館国際子ども図書館長 堀 純子



目次

【はじめに】

【活動報告】

- 1 新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応
- 2 児童書専門図書館としての活動
  - 2.1 資料・情報センターとしての機能
  - 2.2 子どもの読書活動推進支援
  - 2.3 国際的な交流活動
- 3 子どもと本のふれあいの場としての活動
  - 3.1 子どもの成長段階に応じた館内サービス
  - 3.2 子どものための連携イベント
  - 3.3 子ども向けの情報発信
- 4 子どもの本のミュージアムとしての活動
  - 4.1 館内展示
- 5 国内外の諸機関との連携・協力、広報活動等
  - 5.1 講演会
  - 5.2 広報活動
  - 5.3 関係者会議
  - 5.4 見学・案内
  - 5.5 刊行物

【平成31年4月から令和2年3月までの主なできごと】

【数字で見る国際子ども図書館】

【国際子ども図書館利用案内】

# 活動報告

(平成31年4月～令和2年3月)

## 1. 新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年2月22日以降の子どものおはなし会、ちいさな子どものためのわらべうたと絵本の会を休止し、2月25日以降のガイドツアー及び団体見学も休止した。また、2月29日から3月4日までの間、子どものへや、世界を知るへや、調べものの部屋、児童書ギャラリー、本のミュージアムを休室し、児童書研究資料室のみ開室してサービスを行った。3月5日以降は、児童書研究資料室を含むすべての来館サービスを休止した。その後、30日まで休止期間を延長し、さらに4月15日、5月20日まで延長し、最終的に6月10日まで延長することとした。3月に予定されていた研修・展示会・イベントは中止とした。

## 2. 児童書専門図書館としての活動

国際子ども図書館は、児童書の専門図書館として国内外の児童書及び関連資料を広範に収集・保存し、利用に供している。また、「[国立国会図書館国際子ども図書館 子どもの読書活動推進支援計画 2015 \(2019 改訂版\)](#)」に基づき、子どもの読書に関する情報発信、人材育成及びネットワーク構築、所蔵資料等を活用した情報提供等を行っている。

### 2.1 資料・情報センターとしての機能

#### (1) 蔵書構築

##### ○資料の収集

国内刊行児童書を納本制度により収集したほか、未収の国内刊行児童書(鈴木壽雄『ちいさいおともだち』等)、国内外の児童書関連資料、児童サービス用資料、学校図書館セット貸出用資料、主要児童雑誌の欠号等を収集した。

外国刊行児童書については、*The frog prince* (Walter Crane 画) などを含む欧米や中国、韓国等の資料のほか、平成30年度に作成した選書用ブックリストに基づき、カナダ・ケベック(フランス語圏)の児童書を重点的に収集した。また、令和元年度はキューバの児童書・関連書について千野祐子氏(スペイン語翻訳者)に調査及び選書用ブックリストの作成を依頼した。調査報告とブックリストは国際子ども図書館ホームページで公開している(<https://www.kodomo.go.jp/info/foreign/index.html>)。また、ボローニャ国際児童図書展事務局から2019年ボローニャ国際児童図書賞応募作品346冊の寄贈を受けた。

令和元年度の増加数については、日本語の図書が約9,000点、外国語の図書が約4,000点、国内雑誌が約40タイトル、非図書資料が約940点であった。

なお、資料の破損・劣化対策として、年間167冊を補修した。

##### ○資料のデジタル化

児童書については、1968年以前に刊行された国内刊行図書及び1970年までに刊行された国内雑誌のデジタル化がおおむね終了している。令和元年度はソノシート約130点をデジタル化した。

##### ○児童向け視覚障害者等用資料の配置

国立国会図書館東京本館で提供していた点字・大活字資料のうち児童用資料に該当するものについては、平成30年10月までに国際子ども図書館への移送が完了しているが、令和元年度は、東京本館で提供していた児童用視覚障害者等用録音資料・電子資料(マルチメディア DAISY 等)約360タイトル(約380点)を国際子ども図書館に配置することとなり、令和2年3月から移管手続きを開始した。

## (2) 情報サービス

### ○ホームページコンテンツのウェブアクセシビリティ対応

国際子ども図書館ホームページ上で提供している電子展示会「絵本ギャラリー」のうち「モダニズムの絵本 日常の中の芸術」の日本語版・英語版について、国立国会図書館ウェブアクセシビリティ方針に基づいた改修を行い、令和2年4月に公開することとした。

※<https://www.kodomo.go.jp/gallery/modernism/index.html>

### ○国立国会図書館サーチにおける児童書総合目録の提供

国立国会図書館サーチを通じ、国立国会図書館（国際子ども図書館を含む。）、大阪府立中央図書館国際児童文学館、神奈川近代文学館、三康文化研究所附属三康図書館、日本近代文学館、東京都立多摩図書館、梅花女子大学図書館、白百合女子大学図書館・白百合女子大学児童文化研究センターが所蔵する児童書・関連資料の所蔵情報を検索できる児童書総合目録を提供している。令和元年度は、東京都立多摩図書館のデータ更新を行った。

※<https://iss.ndl.go.jp/>

### ○国立国会図書館検索・申込オンラインサービス（略称：国立国会図書館オンライン）への目録データ追加等

国際子ども図書館が整理したアジア諸言語の新規受入児童書資料の目録データ 1,853 件（韓国語 914 件、中国語 692 件、アラビア語 118 件、トルコ語 60 件、ゾンカ語 27 件、ベトナム語 21 件、ヘブライ語 18 件、ペルシャ語 2 件、ヒンディー語 1 件）を追加した。また、国際子ども図書館が所蔵する外国語に翻訳刊行された日本の児童書について、外国語翻訳児童書の目録データ 950 件に日本語原書のタイトルを追加した。なお、児童書専門付加情報としての内容解説データの投入は行わなかった。

※<https://ndlonline.ndl.go.jp/>

### ○国立国会図書館リサーチ・ナビにおける「調べ案内」新規作成・更新

国際子ども図書館が所蔵する資料に関する「調べ案内」について、コンテンツの新規作成を 1 件、更新を 14 件行った。

※<https://rnavi.ndl.go.jp/rnavi/>

### ○レファレンス協同データベースへの事例提供

国際子ども図書館が回答したレファレンス事例 35 件を追加した。令和2年3月末現在、計 689 件を提供している。

※<https://crd.ndl.go.jp/reference/>

### ○外国語に翻訳刊行された日本の児童書情報

日本の児童書の海外における翻訳出版情報のデータベースを国立国会図書館リサーチ・ナビにおいて提供している。令和元年度は 152 件のデータを追加し、令和2年3月末現在の収録データは 4,985 件である。

※<https://rnavi.ndl.go.jp/childbook/honyaku.php>

### ○「国際子ども図書館の蔵書からみる国内の児童図書の出版状況」の公開

国際子ども図書館の蔵書のうち、日本国内で、2017年に出版された児童図書を国立国会図書館分類表に基づいて分野別に集計した結果（2019年8月1日現在）を国際子ども図書館ホームページで公開した。

※<https://www.kodomo.go.jp/info/publication/index.html>

### ○国際子ども図書館ホームページ中国語版及び朝鮮語版の拡充

10月17日に国際子ども図書館ホームページの中国語及び朝鮮語ページのトップページに開館カレンダー、共通ナビゲーション「利用案内」「本・資料を探す」「子どもの読書活動推進」「国際子ども図書館について」を追加した。

※<https://www.kodomo.go.jp/chinese/index.html>

<https://www.kodomo.go.jp/hangul/index.html>



### (3) 利用者サービス

#### ○来館利用サービス

児童書研究資料室には、約 4 万冊の児童書及び児童文学に関する参考図書・研究書等を排架している。また、利用者用端末を配備し、各端末から資料検索、書庫資料の閲覧申込み・複写申込書の作成のほか、デジタル化資料等電子情報の閲覧が可能である。令和元年度の児童書研究資料室の利用者数は 9,361 名、閲覧点数は 26,857 点、複写申込は 5,620 件であった。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和 2 年 2 月 29 日から他の資料室等を休室し、児童書研究資料室のみ開室することとなったが、東京本館の来館サービス休止に合わせて児童書研究資料室も 3 月 5 日から休室した。

#### ○遠隔サービス

国際子ども図書館所蔵資料の遠隔複写、図書館間貸出し及び蔵書に関する問合せに回答するレファレンスサービスを行っている。レファレンスの回答事例の一部はレファレンス協同データベースで紹介している。令和元年度の遠隔複写申込みは 2,290 件、図書館間貸出数は 192 点、文書によるレファレンス回答処理は 121 件、電話によるレファレンス回答処理は 941 件である。

また、IFLA（国際図書館連盟）の「絵本で世界を知ろうプロジェクト」から寄贈された世界 43 か国・地域の絵本 365 冊及び付属資料を、展示会セット「絵本で知る世界の国々—IFLA からのおくりもの」として、国内及びアジア・オセアニア地域の図書館等に貸し出している。令和元年度は国内 3 機関、海外 1 機関に貸し出した。

### (4) 国会サービス及び行政・司法の各部門に対するサービス

#### ○国会サービス

調査及び立法考査局を窓口として、国会議員を始めとする国会関係者に対し、資料の閲覧・貸出し・複写・レファレンス等のサービスを行っている。令和元年度は国会サービスのため所蔵資料 170 点を出納した。

#### ○行政・司法の各部門に対するサービス

国際子ども図書館では東京本館・関西館と同様に、各府省庁及び最高裁判所に設置されている支部図書館 27 館（分館を含め 33 館）に対して、資料の貸出し等を行っている。令和元年度の貸出数は 51 点、電話によるレファレンス回答処理は 1 件である。

## 2.2 子どもの読書活動推進支援

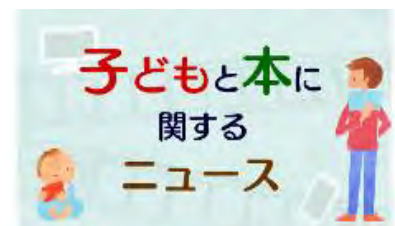
5 月 17 日に「国立国会図書館国際子ども図書館 子どもの読書活動推進支援計画 2015」を一部改訂し、平成 27 年度に完了した施設の増築・改修後の取組や状況の変化を反映するとともに、国立国会図書館中期ビジョン「ユニバーサル・アクセス 2020」及び「国立国会図書館活動目標 2017-2020」に計画期間を合わせ、令和 2（2020）年度まで延長した。

### (1) 子どもの読書に関する情報発信

#### ○「子どもと本に関するニュース」

国際子ども図書館ホームページの「子どもと本に関するニュース」で、国内外の主な児童文学賞、子どもの読書と図書館に関するニュース等を紹介している。令和元年度には国内 115 件、国外 57 件、計 172 件の情報を掲載した。

※<https://www.kodomo.go.jp/info/index.html>



## (2) 人材育成支援

### ①国際子ども図書館が行った研修

#### ○令和元年度図書館情報学実習生の受入れ

関西館図書館協力課が公募により選考した、上田女子短期大学と京都ノートルダム女子大学の実習生計 2 名を 9 月 5 日から 12 日にかけて受け入れ、カウンター業務、選書、装備・排架、レファレンスサービス等の実習を行った。

#### ○児童文学連続講座

11 月 11 日及び 12 日に児童サービスに従事する図書館員等を対象に、児童文学に関する知識の醸成に資することを目的として児童文学連続講座「絵本からヤングアダルト文学まで—児童文学基礎講座」を実施し、92 名が受講、87 名が修了した。講義の演題及び講師は次のとおりである（敬称略）。

##### ●この本よんだ？ 小学校中高学年に向けて

白井 澄子（白百合女子大学人間総合学部教授、国立国会図書館客員調査員）

##### ●ヤングアダルト文学概観

金原 瑞人（翻訳家、法政大学社会学部教授）

##### ●多彩なテーマで幅広い読者をつなぐ絵本の魅力

細江 幸世（編集者、白百合女子大学非常勤講師）

##### ●幼年童話事始め

佐々木 由美子（東京未来大学こども心理学部教授）

##### ●国立国会図書館が提供するデータベース紹介—子どもの本を探すには

福田 由香（国際子ども図書館資料情報課主査）

※<https://www.kodomo.go.jp/study/chair/outline/r1.html>



講義（11月11日）の様子

#### ○児童サービス研究交流会（中止）

令和 2 年 3 月 9 日に「多文化社会における児童サービスの現在」をテーマに実施を予定していた児童サービス研究交流会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。

※<https://www.kodomo.go.jp/study/forum2/r1.html>

#### ○講師派遣

令和元年度に、公共図書館、図書館関係団体等の依頼により、3 件の研究会・研修会等の講師として、3 名の職員を派遣した。

派遣先：大分県立図書館・大分県公共図書館等連絡協議会、宮城県図書館、岩手県立図書館

### ②他機関との連携で行った研修等

#### ○国際子ども図書館特別研修「障害がある子どもへ読書支援をする大人の役割」

5 月 18 日、読むことに障害のある子どもたちの読書環境整備と読書支援を担う人材育成に資するため、伊藤忠記念財団との共催で、標記特別研修を開催し、132 名が参加した。国際子ども図書館からは、児童サービス課職員が「国際子ども図書館における特別支援学校の見学対応」と題する報告を行った。



特別研修の様子



## ○児童図書館員養成専門講座

日本図書館協会が公共図書館などの専門職員を対象に実施している第 39 回児童図書館員養成専門講座の一科目について、同協会と共催で開催した。「児童資料 (3) 日本の児童文学」(講師: 宮川健郎氏 (武蔵野大学名誉教授)) を 10 月 2 日に実施し、17 名が受講した。

### (3) 調査研究

## ○「国際子ども図書館調査研究シリーズ」No.4 の刊行

平成 30 年度に実施した調査研究の成果をまとめた報告書『読書・学習支援コンテンツ構築及び利活用に関する調査研究』を「国際子ども図書館調査研究シリーズ」No.4 として 7 月 16 日に刊行し、関係機関、都道府県教育委員会等に配布するとともに、PDF 版を国際子ども図書館ホームページに掲載した。

### (4) 学校図書館支援

## ○学校図書館セット貸出し

外国語の図書を含む児童書等約 40 冊を 1 セットとし、全国の学校図書館へ貸し出している。令和元年 2 学期からは、これまでの「国際理解」に加えて、新たに「科学」をテーマとするセットの貸出しを開始した。国際子ども図書館ホームページに、「国際理解」17 種類、「科学」1 種類の各セットを構成する資料のリストと解題のほか、セットを使った学校図書館活動や学習・読書活動の事例を掲載している。令和元年度は 169 校に計 6,967 点の資料を貸し出した。子どもたちが次の利用校に推薦する本を紹介する読書郵便は 42 校に送付した。

※<https://www.kodomo.go.jp/promote/activity/rent/index.html>

## ○「調べもの体験プログラム」体験会 (司書・学校司書対象)

8 月 6 日及び 7 日に、通常は中高生向けに提供している「調べもの体験プログラム」を YA サービス・児童サービスに携わる図書館員 (学校司書・司書教諭を含む) を対象に実施し、2 日間で 40 名が参加した。調べもの体験プログラム終了後に参加者との懇談を行った。

## 2.3 国際的な交流活動

### ○IFLA 大会への職員派遣

8 月 22 日にベオグラード (セルビア) で開催された国際図書館連盟 (IFLA) 児童ヤングアダルト図書館分科会サテライトミーティング、及び 8 月 24 日から 30 日にかけてアテネ (ギリシャ) で開催された第 85 回年次大会に、企画協力課職員 1 名が参加した。



第 85 回国際図書館連盟 (IFLA) 年次大会国立国会図書館訪問団

### ○日中業務交流

11 月 5 日から 12 日にかけて開催された中国国家図書館との第 38 回業務交流において、8 日に国際子ども図書館の見学案内及び懇談を行った。



中国国家図書館代表団による訪問

### ○海外の児童書関連機関等からの来訪者

平成 31 年 4 月 21 日、エジプト国立図書館・公文書館長一行が来訪し、企画協力課員が館内を案内した。令和元年 10 月 23 日、中国国家図書館長一行が来訪し、国際子ども図書館長をはじめ各課長と懇談を行った。令和 2 年 3 月 4 日には国際図書館連盟 (IFLA) 特別なニーズのある人々に対する図書館サービス分科会常任委員が来訪し、読書障害のある児童ヤングアダルトに対するスウェーデンの図書館サービスについて懇談を行った。

### 3. 子どもと本のふれあいの場としての活動

子どもたちが図書館や読書に親しむきっかけとなるよう、国内外の児童書を提供するとともに、各種イベントや見学、情報提供等を行った。

#### 3.1 子どもの成長段階に応じた館内サービス

子どものへや・世界を知るへやでは、主に小学生以下を対象とする絵本、読み物、知識の本など約1万2千冊を開架し、年齢に応じた本の紹介等を行っている。

中高生向けの調べものの部屋では、各種事典や調べもの体験プログラムで利用する資料等を含め、調査やレポート作成に役立つ本を約1万冊開架している。

##### ○子どものためのおはなし会

毎週土曜日の午後2時（4歳～小学1年生）及び午後3時（小学2年生以上）から、ストーリーテリングと絵本の読み聞かせ等を実施していた（夏休み期間を除く）が、2月22日以降は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を休止した。令和元年度は計65回実施し、367名が参加した。

##### ○ちいさな子どものためのわらべうたと絵本の会

6か月以上4歳未満の子どもと保護者を対象として、8月及び新型コロナウイルス感染症拡大防止のため休止した3月を除く毎月第2水曜日に、午前11時から実施した。職員が、参加者の年齢に合わせ、絵本の読み聞かせとわらべうたを組み合わせで行っている。令和元年度は計10回実施し、135組272名が参加した。

##### ○子どものためのおたのしみ会

通常のおはなし会の特別版として、5月5日に、大型絵本の読み聞かせを含む「こどもの日おたのしみ会」を2回実施し、計34名が参加した。11月10日には、恩賜上野動物園の協力により「秋のおたのしみ会」を実施し、47名が参加した。「秋のおたのしみ会」は、テーマを「ウシ」とし、国際子ども図書館児童サービス課職員がウシを題材とした絵本の読み聞かせを行った後、上野動物園の飼育員が写真や動画、ウシのエサ、実物大パネルなどを見せながら、ウシの生態についてクイズを交えて解説した。



こどもの日おたのしみ会



秋のおたのしみ会

##### ○夏休み読書キャンペーン

夏休みに子どもが様々な本に出会うための企画として、本を読んで問題に答えるクイズを子どものへやで実施し、計1,931名の子どもが参加した。クイズの問題は、初級編・中級編・上級編の3種類を用意した。

##### ○夏休み親子図書館見学ツアー

7月25日、8月1日、8日、15日、22日、29日の午後2時から約45分間、小学生とその保護者向けの夏休み親子図書館見学ツアーを行った。書庫を含むレンガ棟及びアーチ棟内の施設を、通常のツアーより平易な表現を用いて案内した。18歳以上61名、18歳未満50名の計101名が参加した。



ツアーの様子

### ○夏休み小学生向けブックトーク

7月25日は「恐竜」、8月1日は「野菜」をテーマに小学生向けのブックトークを実施し、計19名が参加した。

### ○夏休み小学生向けおはなし会

8月8日、15日、22日、29日の午後3時から、夏休み親子図書館見学ツアー終了後に、おはなし会を実施した。計71名が参加した。

### ○幼稚園・保育園・小学校・特別支援学校向けの見学

幼稚園・保育園、小学校、特別支援学校向けに、それぞれのニーズに合わせて、手遊び・わらべうた、おはなし会、館内見学を組み合わせる見学会を行った。令和元年度は、計34件760名が参加した。

### ○中高生向けの見学・調べもの体験プログラム

中高生が、短時間で“図書館における調べもの”を体験できる、「調べもの体験プログラム」は「調べものクイズコース」「館内探索スタンプラリーコース」等、計6つのコースで実施した。令和元年度は館内見学会に21件198名、調べもの体験プログラムに24件391名が参加した。

※<https://www.kodomo.go.jp/use/tour/youth.html>

### ○春休み特別版「調べもの体験プログラム」図書館 de クイズ！（中止）

令和2年3月26日、通常は学校からの申し込みで行っている「調べもの体験プログラム」を、春休み特別版として小学校4年生から高校3年生までの個人が申し込めるイベントとして企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

## 3.2 子どものための連携イベント

上野公園地区に所在する近隣文化機関との連携により、読書に親しむきっかけとなるよう、子ども向けのイベントを実施した。

### ○子どものための音楽会

10月27日、東京都歴史文化財団東京文化会館との共催で、「Music Program TOKYO まちなかコンサート～芸術の秋、音楽さんぽ～」の一環として行った。午後1時及び午後3時から40分ずつ開催し、18歳以上331名、18歳未満154名の計485名が参加した。子どもが親しみやすい曲を選んで弦楽四重奏の演奏を行った。演奏終了後、国際子ども図書館児童サービス課職員が絵本の読み聞かせ、楽器や曲目に関連する本の紹介を行った。



音楽会の様子

### ○あいうえのオープンデイ キュッパ・チャンネルぼうけん部「形を探すけんちく探検」

12月15日、東京都、東京都歴史文化財団東京都美術館、同アーツカウンシル東京及び東京藝術大学との共催により、令和元年度「Museum Start あいうえのプロジェクト」の一環として、標記ワークショップを開催した。テーマは「形を探すけんちく探検」であり、国際子ども図書館職員がレンガ棟の写真を投影しながら様々な形を紹介した後、子どもたちがグループに分かれて鑑賞ボランティアと共にレンガ棟内を観察、鑑賞し、国際子ども図書館の建物についての理解を深めた。小学校1年生から6年生までの子ども21名が参加した。



国際子ども図書館探検の様子



### ○子どもと楽しむ美術—絵本の読み聞かせとともに—

12月22日、東京都美術館との連携事業として、東京都美術館に職員を派遣し、絵本の読み聞かせ及び国際子ども図書館で開催の展示会「絵本に見るアートの100年—ダダからニュー・ペインティングまで」の紹介を行った。18歳以上24名、18歳未満9名の計33名が参加した。



読み聞かせの様子

### ○子どものためのおはなし会 in コンパス

令和2年2月19日、国立科学博物館との連携事業として、国立科学博物館に職員を派遣し、同館地球館3階の「親子のたんけんひろば『コンパス』」における定例ワークショップの一環として、絵本の読み聞かせを行った。親子を含めた計31名が参加した。



読み聞かせの様子

### ○子どものための絵本と音楽の会『おんがくかいのよる』（中止）

令和2年3月22日、東京・春・音楽祭実行委員会との共催により、絵本『おんがくかいのよる :5ひきのすてきなねずみ』の朗読に合わせて、サクソフォンとピアノの演奏を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止した。

## 3.3 子ども向けの情報発信

「国立国会図書館キッズページ」の「よんでみる？」のコーナーにコンテンツを10件追加した。  
※<https://www.kodomo.go.jp/kids/index.html>

## 4. 子どもの本のミュージアムとしての活動



展示会「絵本に見るアートの100年—ダダからニュー・ペインティングまで」の会場の様子

児童書の持つ魅力を広く一般に紹介することを目的に、児童書に関する展示会を開催している。国際子ども図書館が主催する企画展示のほか、日本国際児童図書評議会（JBBY）など他機関から資料を借用して実施する巡回展示、共催による展示などがある。令和元年度は、展示会「詩と伝説の国—イランの子どもの本」、 「世界をつなぐ子どもの本—2018年国際アンデルセン賞・IBBY オナーリスト図書展」、 「絵本に見るアートの100年—ダダからニュー・ペインティングまで」、 「子どもを健やかに育てる本 2019—厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財（出版物）」をレンガ棟3階本のミュージアムにおいて開催した。このほか、子どものへや等の各資料室において、様々なテーマの下に小展示を行った。

## 4.1 館内展示

### ○詩と伝説の国—イランの子どもの本

レンガ棟3階本のミュージアムにおいて、平成31年3月5日から令和元年7月21日まで計109日開催し、入場者数は22,849名であった。日本とイランの外交関係樹立90周年を記念して、国際子ども図書館が所蔵するイランの児童書の中から、イランの詩や伝説・昔話を題材とした絵本のほか、近年活躍しているイランの画家や作家の作品を中心に約350点を展示した。また、国際子ども図書館職員によるギャラリートークを計10回開催し、参加者は190名であった。



### ○世界をつなぐ子どもの本—2018年国際アンデルセン賞・IBBYオナーリスト図書展

レンガ棟3階本のミュージアムにおいて、8月6日から9月8日まで計28日開催し、入場者数は8,083名であった。資料は国際児童図書評議会（IBBY）の日本支部である日本国際児童図書評議会（JBBY）から借用し、2018年の国際アンデルセン賞受賞者の著作、IBBYオナーリストの作品及びその邦訳書、合わせて約200点を手に取って見られるよう展示した。



### ○絵本に見るアートの100年—ダダからニュー・ペインティングまで

レンガ棟3階本のミュージアムにおいて、10月1日から令和2年1月19日まで計79日開催し、入場者数は23,216名であった。絵本の視覚表現性に注目し、美術作品の一つとして探究する動きが見られるようになった近年の流れを受け、美術の観点から国内外の絵本約300点を展示した。また、国際子ども図書館職員によるギャラリートークを計8回開催し、参加者は215名であった。



### ○子どもを健やかに育てる本 2019—厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財（出版物）

レンガ棟3階本のミュージアムにおいて、令和2年2月4日から28日まで計19日開催し、入場者数は2,619名であった（当初の会期は令和2年2月4日から3月4日までだったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2月28日をもって終了した）。厚生労働省との共催で、平成30年度に厚生労働省社会保障審議会が推薦した図書35作品を手に取って見られるよう展示した。



### ○スポーツと子どもの本（中止）

レンガ棟3階本のミュージアムにおいて、令和2年3月24日から6月28日までの開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため本のミュージアムを令和2年2月29日から休室としたこと、及び東京オリンピック・パラリンピックが延期となったことを踏まえ、予定期間での実施を中止した。

### ○児童書研究資料室の小展示

児童書研究資料室では、利用者の興味・関心を深める一助とするため、レンガ棟3階本のミュージアムにおける展示会に関連した小展示を2回実施した。また、海外の児童文学賞受賞作品をテーマとした小展示を2回、海外の児童書に関する調査で外部の専門家が作成したブックリストに基づき収集した児童書の小展示を1回実施した。加えて、平成30年に日本国内の主要な児童文学賞を受賞した作品及び読書活動推進に関する児童サービスの基本資料を通年で展示した。



小展示「ペルーの児童書〜ブックリストで収集した海外の児童書〜」

## ○児童書ギャラリーの小展示

児童書ギャラリーでは、明治から現代までの児童文学史と絵本史の流れに一層親しむことを目的に、特定の作家や画家等に関する小展示を「作家・画家コーナー」で行っている。令和元年度は安野光雅（前半）と加古里子（後半）を紹介した。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年2月29日から休業した。

## ○子どものへや・世界を知るへやの小展示

子どものへやでは季節や子どもの興味を引くテーマで小展示を行い、子どもたちが何度訪れても楽しめる工夫をしている。令和元年度は「いろの本」「おかあさんの本・おとうさんの本」「きょうりゅうの本」「時間と時計の本」「おどりの本」「ねずみの本」の6回行った。世界を知るへやでは「IFLA 絵本で世界を知ろうプロジェクト」など4種類の小展示を常設している。



小展示  
「きょうりゅうの本」

## ○調べものの部屋の小展示

調べものの部屋では、2か月毎にテーマを決め、入口のスタンドを利用して10冊程度の本を紹介するウェルカム展示を行っている。平成元年度は「育てる」「菖蒲」「星」「旅」「まね」「飾り」の6回行った。また、近隣の施設で行われている展覧会に合わせたテーマで関連小展示を行った。

## 5. 国内外の諸機関との連携・協力、広報活動等

国際子ども図書館は、国内外の図書館や児童書等の関係機関又は団体と密接に協力しながら、主に「子どもに本を手渡す大人」への支援を通じて、子どもの読書活動を推進している。令和元年度は各種団体との連携により、日本の作家、絵本作家、翻訳家、美術館学芸員、ロシアの絵本画家、韓国の絵本研究者を招き、講演会を実施した。加えて、密接な連携を推進するため、国際子ども図書館職員と関係機関との懇談・交流の場を設け意見交換・情報共有を行った。

### 5.1 講演会

#### ○講演会「私が子ども時代に会った本—角野栄子」

4月21日、日本ペンクラブとの共催により作家の角野栄子氏の講演会を開催した。講師は、自らの子ども時代の読書体験について、戦中・戦後の本が非常に少ない時期に、「桃太郎」など父親に読んでもらった本から物語の楽しさを知ったこと、その後、物語性のある作品、人物造形の卓越した作品を自分で選んで読み進めてきたことを、『レ・ミゼラブル』『巖窟王』『ビルマの豎琴』等の作品名とともに紹介した。最後に、自身の創作について語り、短編小説（ポース・オースター編『ナショナル・ストーリー・プロジェクト』）の一節の朗読を行った。参加者は112名であった。



角野栄子氏

#### ○上野の森親子ブックフェスタ講演会「歌い、踊り、遊ぶ—絵本作家によるおはなしライブ」

（コーディネーター：かさいまり氏、実演：永井郁子氏、北川チハル氏、きたじまごうき氏）

5月5日、「上野の森親子ブックフェスタ」運営委員会との共催により、上野の森親子ブックフェスタ2019の一環として開催した。北川氏、きたじま氏、永井氏の順に、歌、踊り、楽器演奏を交えて自作絵本の読み聞かせを実演した。絵本の画像や自作の動画をプロジェクターでスクリーンに投影し、映像や音などとともにライブ感あふれる絵本の読み語りを行った後、実演者等の呼びかけにより、参加者全員で歌やダンスを行い会場が一体となった。質疑応答では、



パフォーマンスの様子



読み聞かせの際、子どもを引きつける手段として音楽等を取り入れることの是非や可能性について、コーディネーター及び実演者との意見交換が行われた。参加者は71名であった。

### ○講演会「いま、イランの子どもの本は？」

6月16日、日本ペンクラブとの共催により、講演会「シリーズ・いま、世界の子どもの本は？」の第12回として、愛甲恵子氏（ペルシャ語翻訳家）、片桐早織氏（アラビア語、トルコ語、ペルシャ語翻訳家）を講師に迎え、「いま、イランの子どもの本は？」を開催した。愛甲氏は、イランの児童書出版概況、絵本と児童書の歴史、読書推進活動の3つの観点を中心に、イランでは児童書の出版が盛んであること、都市部では書店が充実し、ブックフェアが開催されている一方で、地方では学校図書館の整備等に課題があり、読書推進団体が派遣する移動図書館が利用されていること、イラン・イラク戦争の時期にも自由な発想の作品が刊行されたこと等を、絵本や現地の写真とともに解説した。また、移動図書館で派遣される専門家がペルシャ語の音のリズムに乗せて語るストーリーテリングを動画で紹介した。片桐氏は、イランの図書館と代表的な児童書について、現地の写真とともに解説し、あわせて自身が最近訪問したイラクの図書館や児童書の紹介も行った。参加者は94名であった。



愛甲恵子氏（左）・片桐早織氏（右）

### ○講演会「現代ロシアの芸術と絵本—国際アンデルセン賞作家イーゴリ・オレイニコフ氏を迎えて」

10月6日、ロシアの代表的な絵本画家であり、2018年国際アンデルセン賞画家賞を受賞したイーゴリ・オレイニコフ氏を招き、講演会「現代ロシアの芸術と絵本—国際アンデルセン賞作家イーゴリ・オレイニコフ氏を迎えて」を開催した。オレイニコフ氏の講演に先立ち、東京大学大学院教授の沼野充義氏が20世紀までのロシアの子どもの本を4つの系譜に分けて解説した。オレイニコフ氏は、自らの視点で物語を解釈し、絵を描くという挑戦について作品紹介を交えて語った。対談では、沼野氏がオレイニコフ氏の作品の魅力に迫った。参加者は122名であった。



イーゴリ・オレイニコフ氏

### ○展示会関連講演会「美術と絵本—冒険と革新」

11月9日、展示会「絵本に見るアートの100年—ダダからニュー・ペインティングまで」関連イベントとして、さいたま市教育委員会事務局生涯学習部うらわ美術館学芸員である山田志麻子氏の講演会「美術と絵本—冒険と革新」を開催した。講師は、20世紀の芸術思潮と絵本のかかわりをテーマに、20世紀の美術を切り開いた前衛的、革新的な作家による新しい表現が反映された絵画と絵本を、図版とともに紹介して、その制作背景や絵画表現を解説した。参加者は80名であった。



講演会の様子

### ○講演会「20世紀美術史の基礎知識」（東京都美術館・国立国会図書館国際子ども図書館連携企画）

11月30日、東京都美術館と連携して、同館学芸員の岡本純子氏及び田中宏子氏を講師に迎え、国際子ども図書館展示会関連講演会「20世紀美術史の基礎知識」を開催した。岡本氏は、20世紀美術史の芸術運動を中心に、思想的背景や作家の各作品の制作背景等を解説した。また、展示会「絵本に見るアートの100年—ダダからニュー・ペインティングまで」の出展絵本に沿って、対応する芸術運動を代表する絵画作品も併せて紹介した。田中氏は、

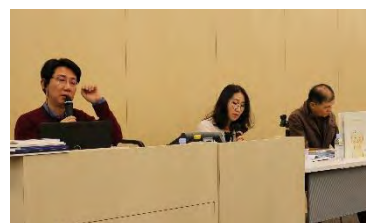


講演会の様子

東京都美術館の展覧会「上野アーティストプロジェクト 2019「子どもへのまなざし」」の出演作家とその作品を紹介し、作品の持つテーマや特徴、鑑賞のポイントを解説した。参加者は 84 名であった。

### ○講演会「韓国絵本の世界—過去と現在、そして未来—」

12月1日、韓国絵本研究の第一人者であるジョン・ビョンギョ氏と国際児童図書評議会韓国支部（KBBY）元副会長であり絵本専門出版社代表のチョン・サンヒョン氏を招き、「韓国絵本の世界—過去と現在、そして未来—」と題する講演会を開催した。ジョン・ビョンギョ氏は、韓国国内の社会情勢や歴史上の転換点を踏まえつつ、韓国における絵本の歴史について解説した。チョン・サンヒョン氏は、絵本出版が急速に活性化した韓国国内の状況について概説するとともに、注目されている新進作家とその作品を紹介した。参加者は 115 名であった。



講演会の様子

## 5.2 広報活動

### ○上野地区文化施設共通入場券事業への参加

上野文化の杜新構想実行委員会が主催する上野地区文化施設共通入場券事業に、前期（平成 31 年 4 月 1 日～令和元年 9 月 30 日）、後期（令和元年 10 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）ともに参加した。スタンプラリーにも参加し、記念品のポストカードを 394 人に配布した。

### ○レンガ棟のライトアップ再開

6月14日（金）から広報活動の一環としてレンガ棟の夜間ライトアップを再開した。毎週金曜日及び土曜日の日没から 21 時まで限定して点灯している。



ライトアップの様子

### ○教員のための博物館の日 2019

7月26日、国立科学博物館で行われた教員のための博物館の日 2019 に、ブースを出展し、学校教員や学校司書等 123 名に対して、「新たに構築した学校図書館貸出しセット「科学」（中学校向）の展示と紹介を行い、あわせて国際子ども図書館の事業や活動を説明、パンフレット等を配布した。



ブース展示の様子

### ○図書館総合展出展

11月12日～11月14日にパシフィコ横浜で行われた第 21 回図書館総合展において、来場者に紹介パンフレット 229 部を配布し、当館の概要を説明した。

### ○広報のためのアウトリーチ活動

11月2日に桶川市教育委員会の依頼により OKEGAWAhon プラス+（埼玉県桶川市）に職員を派遣し、当館の紹介を行った。

## 5.3 関係者会議

### ○令和元年度子どもの本と読書に関する懇談会

令和 2 年 2 月 3 日に、「令和元年度子どもの本と読書に関する懇談会」を開催した。これは、平成 27 年度のアーチ棟竣工とリニューアル後のサービス開始を機に、従来の国際子ども図書館連絡会議の在り方を見直し、名称も変更した上で平成 29 年度から開催しているものである。以降、参加団体の関心の高いテーマを設定し、子どもの本と読書に関する最新動向の報告や意見交換を行うことを目的として毎年度開催している。

令和元年度のテーマは「子どもの読書におけるデジタル資料の可能性」とした。国際子ども図書館から活動報告を行った後、テーマに基づき、大阪府立中央図書館、全国学校図書館協議会及び文部科学省総合教育政策局が報告、意見交換と懇談を行った。外部機関・団体の参加者は13機関・団体13名であった。

## 5.4 見学・案内

### ○議会関係者向けの案内

令和元年度は、国会議員2件2名、地方自治体・地方議会関係者4件19名の案内を行った。

### ○一般向けの案内

個人向けのガイドツアーを毎週火・木曜日に行っているほか、団体向けの見学を行っている。令和元年度は、個人向け69件454名、団体向け86件1,405名が参加した。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、2月25日以後の一般向け見学案内を休止した。



ガイドツアーの様子

### ○図書館向けの案内

図書館職員や小中学校の学校図書館司書等、図書館関係者向けの見学案内を行っている。令和元年度は、計16回実施し、210名が参加した。

### ○外国人向けの案内

外国公館関係者、海外の図書館関係者等を含む、外国人向けの見学案内については、令和元年度に計16回実施し、77名が参加した。

### ○子ども向けの案内

[3.1 \(10 ページ\)](#) 参照

## 5.5 刊行物

令和元年度は、次のとおり刊行した。(タイトル五十音順)

### ○国際子ども図書館調査研究シリーズ 第4号 (2019年7月16日)

『読書・学習支援コンテンツ構築及び利活用に関する調査研究』

※[https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo\\_11334848\\_po\\_2019-series-full.pdf?contentNo=1&alternativeNo](https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_11334848_po_2019-series-full.pdf?contentNo=1&alternativeNo)

### ○『国際子ども図書館の窓』第19号 (2019年9月30日)

※[https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo\\_11357864\\_po\\_2019-mado.pdf?contentNo=1&alternativeNo](https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_11357864_po_2019-mado.pdf?contentNo=1&alternativeNo)

### ○国際子ども図書館メールマガジン 163～185号 (2019年4月～2020年3月)

※<https://www.kodomo.go.jp/about/mailmagazine/2019/index.html>

### ○児童文学連続講座講義録 (2019年9月15日)

『平成30年度児童文学連続講座講義録「絵本と子どもの原点を見つめる—子どもの成長発達と絵本」』

※[https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo\\_11346312\\_po\\_H30-full.pdf?contentNo=1&alternativeNo](https://dl.ndl.go.jp/view/download/digidepo_11346312_po_H30-full.pdf?contentNo=1&alternativeNo)

## 平成31年4月から令和2年3月までの主なできごと

### 平成31年・令和元年

---

平成31年

4月21日 講演会「私が子ども時代に出会った本—角野栄子」

令和元年

5月5日 上野の森親子ブックフェスタ講演会「歌い、踊り、遊ぶ—絵本作家によるおはなしライブ」  
こどもの日おたのしみ会

5月17日 「国立国会図書館国際子ども図書館 子どもの読書活動推進支援計画2015」の改訂

5月18日 国際子ども図書館特別研修「障害がある子どもへ読書支援をする大人の役割」

6月14日 レンガ棟の夜間ライトアップ再開

6月16日 講演会「いま、イランの子どもの本は？」

7月16日 国際子ども図書館調査研究シリーズ第4号

『読書・学習支援コンテンツ構築及び利活用に関する調査研究』刊行

7月19日 夏休み読書キャンペーン2019（～9月1日）

7月25日 夏休み親子図書館見学ツアー（8月1日、8日、15日、22日、29日とも）

夏休み小学生向けブックトーク（8月1日とも）

7月26日 「教員のための博物館の日2019」に参加

8月6日 「調べもの体験プログラム」体験会（司書・学校司書対象）（7日とも）

展示会「世界をつなぐ子どもの本—2018年国際アンデルセン賞・IBBY オナーリスト図書展」（～9月8日）

8月8日 夏休み小学生向けおはなし会（15日、22日、29日とも）

9月15日 平成30年度児童文学連続講座講義録刊行

9月30日 『国際子ども図書館の窓』第19号刊行

10月1日 展示会「絵本に見るアートの100年—ダダからニュー・ペインティングまで」（～令和2年1月19日）  
外国在住の視覚障害者等による視覚障害者等用データ送信サービス利用申請の受付開始

10月2日 JLA 児童図書館員養成専門講座

10月6日 講演会「現代ロシアの芸術と絵本—国際アンデルセン賞作家イーゴリ・オレイニコフ氏を迎えて」

10月17日 国際子ども図書館ホームページの中国語及び朝鮮語ページの拡充

10月27日 子どものための音楽会

11月9日 展示会関連講演会「美術と絵本—冒険と革新」

11月10日 子どものための秋のおたのしみ会 「ウシの絵本の読み聞かせとウシの飼育員さんのおはなし」

11月11日 国際子ども図書館児童文学連続講座「絵本からヤングアダルト文学まで—児童文学基礎講座」（～12日）

11月12日 第21回図書館総合展に出展（～14日）

11月30日 展示会関連講演会「20世紀美術史の基礎知識」

12月1日 講演会「韓国絵本の世界—過去と現在、そして未来—」

12月15日 Museum Start あいうえの「あいうえのファミリー向けプログラム オープンデイ「キュッパ・チャンネル」  
ぼうけん部」

12月22日 「子どもと楽しむ美術—絵本の読み聞かせとともに—」（会場：東京都美術館）

### 令和2年

---

2月3日 子どもの本と読書に関する懇談会

2月4日 展示会「子どもを健やかに育てる本2019—厚生労働省社会保障審議会推薦児童福祉文化財（出版物）」  
（～28日）※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会期を短縮して終了した。

2月19日 子どものためのおはなし会 in コンパス（会場：国立科学博物館）

2月22日 子どものためのおはなし会ほか、子ども向けイベント等の休止

2月29日 子どものへや、世界を知るへや、調べものの部屋、児童書ギャラリー、本のミュージアムを休業  
（～3月4日）

3月5日 すべての来館利用サービスを休止（～16日）

3月17日 来館利用サービス休止の延長（～30日）

3月31日 来館利用サービス休止の再延長（～4月15日、再再延長5月20日まで、さらに延長6月10日まで）

### 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった催物等

- 3月9日 児童サービス研究交流会「多文化社会における児童サービスの現在」
- 3月22日 子どものための絵本と音楽の会『おんがくかいのよる』
- 3月24日 展示会「スポーツと子どもの本」(~6月28日)
- 3月26日 春休み特別版「調べもの体験プログラム」図書館 de クイズ!

# 数字で見る国際子ども図書館

平成 31（令和元）年度（平成 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日）

（1）国際子ども図書館所蔵統計（令和 2 年 3 月 31 日現在）

		資料区分	所蔵数	
資料 情報課	図書 （単位：点）	日本語（*1）	316,089	
		外国語（*2）	中国語・朝鮮語資料	118,722
			アジア言語資料 （中国語・朝鮮語資料以外）	29,853
			欧米言語資料	10,947
			計	78,177
	計	434,811		
	逐次刊行物 （単位：タイトル、 カッコ内は点）	国内雑誌	1,836 (99,082)	
		外国雑誌	191 (10,950)	
		計	2,027	
	非図書資料 （単位：点）	マイクロ資料 （マイクロフィルム、マイクロフィッシュ等）	38,000	
		映像資料（ビデオディスク、ビデオカセット等）	9,806	
		録音資料（オーディオディスク、カセットテープ等） （*3）	3,656	
		機械可読資料（光ディスク等）	6,946	
		楽譜資料	393	
		カード式資料（カルタ等）	11,438	
		静止画資料（紙芝居等）	21,402	
		点字・大活字資料	3,799	
計	95,440			
開架閲覧用資料（単位：点）（*4）		20,235		
	児童書ギャラリー	2,083		
貸出用資料（単位：点）		365		
児童 サービス課	開架閲覧用資料（単位：点）		30,268	
		子どものへや・世界を知るへや	17,572	
		調べものの部屋	12,696	
	貸出用資料（単位：点）		5,251	

\*1 児童書関連書（2006 年 9 月以前選書分 12,342 点）を含む。

\*2 児童書関連書（5,942 点）を含む。言語別の所蔵数の計は業務基盤システムによる採取のため、外国語の所蔵数と一致しない場合がある。

\*3 教師用指導書のみである。

\*4 日本語の児童書関連書（2006 年 10 月以降選書分）及び児童関連誌並びに児童書ギャラリー用資料の合計点数である。



## (2) 来館者統計

開館日 (日)	258
来館者 (人)	117,340
(うち 18 歳未満)	(24,075)

## (4) 資料出納統計

国会サービス (点)	170
児童書研究資料室 (点)	26,857

## (3) 各室利用統計

児童書研究資料室	開室日 (日)	258
	利用者 (人)	9,361
子どものへや・ 世界を知るへや	開室日 (日)	254
	利用者 (人)	79,110
児童書ギャラリー	開室日 (日)	254
	利用者 (人)	35,937
調べものの部屋	開室日 (日)	254
	利用者 (人)	41,222

## (5) 複写サービス統計

(対象：国会サービス)

紙	件	0
	枚	0
プリント アウト	件	0
	枚	0
マイクロ	件	0
	フィルム (コマ)	0
	フィッシュ (枚)	0

(対象：一般)

紙	件	7,129
	枚	37,465
プリント アウト	件	781
	枚	17,286
マイクロ	件	0
	フィルム (コマ)	0
	フィッシュ (枚)	0

## (6) 資料貸出統計

(対象：行政・司法各部門)

相互貸出し (点)	51
-----------	----

(対象：一般)

図書館間貸出し	点	192
学校図書館セット貸出し	件	169
	点	6,967
展示会出品資料貸出し	件	4
	点	1,460

## (7) レファレンスサービス統計①

(対象：一般)

文書回答	処理文書 (通)	68
	処理 (件)	121
電話回答	受理 (件)	713
	(うち 18 歳未満)	(0)
	処理 (件)	941
	(うち 18 歳未満)	(0)
口頭回答	受理 (件)	13,569
	(うち 18 歳未満)	(1,239)
	処理 (件)	15,233
	(うち 18 歳未満)	(1,398)

(7) レファレンスサービス統計②

(対象：国会サービス)

文書回答	処理文書（通）	0
	処理（件）	0
電話回答	受理（件）	0
	処理（件）	0
口頭回答	受理（件）	0
	処理（件）	0
調査局経由*	処理（件）	0

(対象：行政・司法各部門)

文書回答	処理文書（通）	0
	処理（件）	0
電話回答	受理（件）	1
	処理（件）	1
口頭回答	受理（件）	0
	処理（件）	0

\*調査及び立法考査局で受付後、回付されたものである。

(8) 参観・見学統計\*

国会議員、前・元議員	件	2	
	人	2	
その他の国会関係者	件	0	
	人	1	
行政・司法	件	0	
	人	0	
国内	個人	件	69
		人	454
		（うち 18 歳未満）	(29)
	団体	件	86
		人	1,405
		（うち 18 歳未満）	(974)
	図書館関係者	件	16
		人	210
		（うち 18 歳未満）	(1)
	地方自治体・地方議会関係者	件	4
		人	19
		（うち 18 歳未満）	(0)
海外（外国公館関係者を含む）	件	16	
	人	77	
	（うち 18 歳未満）	(0)	

\*件数は、参加者に複数の種別が混在する場合、主たる種別のみ「1件」とし、他の種別については「0件」とする。

(9) 国際子ども図書館ホームページアクセス統計

https://www.kodomo.go.jp/以下の全コンテンツ	ページビュー（件）	2,684,397
トップページ	トップページへのアクセス（件）	401,608

## 国際子ども図書館利用案内

新型コロナウイルス感染症拡大の状況によりサービスに変更が生じる場合があります。  
最新情報はホームページでご確認ください。

国際子ども図書館ホームページ <https://www.kodomo.go.jp/>

電話 03 (3827) 2053 (代表) 03 (3827) 2069 (音声による利用案内)

### ★来館利用 ホームページ > 利用案内

問合せ先 : 企画協力課

開館時間 : 9:30~17:00 資料請求 : 9:30~16:30 (児童書研究資料室)

複写受付 : 10:00~16:00 (後日郵送複写のみ 16:30 まで) 複写製品引渡し : 10:00~12:00、13:00~16:30

休館日 : 月曜日、国民の祝日・休日 (こどもの日は開館)、年末年始、毎月第3水曜日

所蔵資料 : 国内刊行児童図書・雑誌、外国語の児童図書・雑誌、児童書関連図書・雑誌等

※資料の利用は館内のみ。館外への帯出はできません。

### ★レファレンス・資料案内 ホームページ > 本・資料を探す > レファレンス・サービス

問合せ先 : 資料情報課情報サービス係

申込方法 : 来館、文書 (図書館経由)、電話

※児童書・児童文学、児童図書館活動等に関する問合せにお答えします。

※資料を直接確認しなければならないなど時間を要する調査及び聞き間違いが生じやすい外国語文献についてのレファレンスなどは文書でお申込みください。

### ★資料の複写 (有料) ホームページ > 利用案内 > 複写サービス

問合せ先 : 資料情報課情報サービス係

申込方法 : 来館、国立国会図書館オンライン経由 (登録利用者・機関のみ)

郵送 (登録利用者・機関のみ)

### ★資料の図書館間貸出し ホームページ > 利用案内 > 図書館間貸出し

問合せ先 : 資料情報課情報サービス係

※「図書館間貸出制度」に加入している図書館のみ利用できます。

※雑誌や昭和25年以前刊行の図書など貸出しができない資料もあります。

### ★見学・体験 (調べもの体験プログラム) ホームページ > 利用案内 > 見学・体験

問合せ先 : 企画協力課広報係 (一般向け)

児童サービス課 (幼稚園・保育園・小学生向け・中高生向け)

### ★学校図書館セット貸出し ホームページ > 子どもの読書活動推進 >

国際子ども図書館における実践 > 学校・学校図書館へのサービス > 学校図書館セット貸出し

問合せ先 : 児童サービス課児童サービス企画係

---

## 国際子ども図書館の窓 第20号

2020年9月30日発行

発行 国立国会図書館

編集 国立国会図書館国際子ども図書館

〒110-0007 東京都台東区上野公園12-49

電話 03(3827)2053(代表)

FAX 03(3827)2043

---

本誌に掲載された記事を全文又は長文にわたり抜粋して転載される場合には、事前に国際子ども図書館企画協力課広報係までご連絡ください。

**The Window**  
**the journal of the International Library of Children's Literature**  
**No.020 September 2020**

---

**Contents**

<a href="#">【ILCL activity report】</a> .....	4
<a href="#">【List of events and activities; April 2019 - March 2020】</a> .....	17
<a href="#">【ILCL in figures】</a> .....	19
<a href="#">【ILCL user guide】</a> .....	22

---

International Library of Children's Literature,  
National Diet Library,  
Tokyo